

## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月22日

上場会社名 株式会社 ロブテックス  
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光

TEL 072-980-1110

定時株主総会開催予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日

2020年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	5,673	6.9	237	45.9	190	52.0	46	80.8
2019年3月期	6,096	1.1	439	21.5	397	20.1	245	21.1

(注) 包括利益 2020年3月期 9百万円 ( %) 2019年3月期 278百万円 ( 24.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	50.30		1.2	2.4	4.2
2019年3月期	262.55		6.2	4.9	7.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	8,007	4,116	49.0	4,197.09
2019年3月期	8,109	4,206	49.5	4,298.20

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,919百万円 2019年3月期 4,014百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	381	486	244	1,674
2019年3月期	200	18	75	2,023

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		70.00	70.00	65	26.7	1.7
2020年3月期		0.00		70.00	70.00	65	139.2	1.6
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては未定としております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が業績に与える影響を現時点で合理的に算定することが困難なことから未定としております。合理的な算定が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	1,000,000 株	2019年3月期	1,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	66,107 株	2019年3月期	66,075 株
期中平均株式数	2020年3月期	933,920 株	2019年3月期	933,939 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	4,050	8.3	17	90.5	115	58.1	34	82.6
2019年3月期	4,419	1.7	183	40.8	275	27.5	198	26.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	37.12	
2019年3月期	213.02	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	6,734		3,409		50.6		3,650.81	
2019年3月期	7,003		3,512		50.2		3,761.35	

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,409百万円 2019年3月期 3,512百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が業績に与える影響を現時点で合理的に算定することが困難なことから未定としております。合理的な算定が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

なお、詳細については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、年度前半は企業収益や雇用・所得環境の改善などにより設備投資や個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調が継続しましたが、米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題、日韓関係の悪化などの海外情勢に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度末にかけて急速に悪化しました。

こうした経済環境の下、当社グループは全社員を丸とする企業文化“コーポレートカルチャー”を醸成し、創立100周年(2023年度)にあるべき姿を目指すため、経営ビジョンを「モノづくりのプロにゆえモノづくりの愉しさを育む」、経営スローガンを「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」と定め、その浸透と発信を図り、経営目標達成に向けて努力してまいりました。また、2019年4月にコーポレートカルチャーの醸成促進とより機能的な組織体制とすべく、組織改革を実施し、社長室をコーポレートカルチャー醸成に特化させ、営業部に営業企画・推進部門を統合させるとともに、取引先別販売チャネル展開を加速すべくeビジネス推進部門を新設しました。また、顧客満足の充実を図るため、カスタマーサービス部門を独立させました。そして、将来を見据え、金属製品事業では生産設備の拡充並びに人的な投資・充実を、レジャー事業ではサービス向上に向けた設備投資を計画的に進めてまいりました。

このように経営目標達成への取組みに注力しましたが、売上高は前年同期比6.9%減の56億7千3百万円(前年同期60億9千6百万円)となり、利益面では減収影響に人件費増も加わり、営業利益で同45.9%減の2億3千7百万円(同4億3千9百万円)、経常利益で同52.0%減の1億9千万円(同3億9千7百万円)となりました。親会社株主に帰属する純利益では、特別損益において、関係会社株式売却益の計上はありましたものの、福岡営業所土地・建物に関する減損損失の計上により、同80.8%減の4千6百万円(同2億4千5百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ減少しました。ハンドツール部門ではレンチ類において本締めに迫るプロ仕様を謳った「ハイブリッドモンキレンチX W-ZERO」や軸の強いソケット「ストロック」などの新商品投入による増加がありましたものの、OEM製品の低調などにより減少し、ファスニング部門では工業用ファスナーにおいて新規案件の獲得などがありましたが、継続案件の工法変更による注文減や工期遅延影響を補えず減少しました。切削工具部門については拡販努力を行いましたが、継続的な価格競争影響により減少しました。

海外売上についても前年同期に比べ減少しており、ハンドツール部門では主力販売国である韓国の経済環境や流通在庫増加影響により、レンチ類・電設工具などが大幅に減少しました。ファスニング部門においては拡販努力によるエアーナッターの増加はありましたが、エアリーベッター等の他のファスニングツールが米国における流通在庫増加影響により減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比7.3%減の54億4千3百万円(前年同期58億7千4百万円)となりました。利益面ではセグメント利益が減収や人件費増により、前年同期比61.0%減の1億3千7百万円(同3億5千3百万円)となりました。

#### ②レジャー事業

ゴルフ練習場におけるお客様一人当たり売上高は高気温などの天候影響と思われる滞在時間の減少やキャンペーン企画実施により低下しましたものの、入場者数はサービス向上や集客施策により前年同期に比べ増加し、売上高は前年同期比3.9%増の2億3千万円(前年同期2億2千1百万円)となりました。セグメント利益は前年同期に実施した設備修繕等の費用が無くなり、同16.6%増の9千9百万円(同8千5百万円)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計期間末における総資産は80億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少しました。

#### (資産)

流動資産は前連結会計年度末比5千4百万円減の51億5千6百万円となりました。これは主にたな卸資産の増加がありましたものの、現金及び預金や受取手形及び売掛金、電子記録債権が減少したことによるものです。

固定資産は同4千7百万円減の28億5千万円となりました。これは主に工場棟新築を中心とした設備計画進捗による新たな有形固定資産の増加がありましたが、投資有価証券の時価評価に伴う減少や福岡営業所土地・建物に関する減損損失の計上によるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比1千8百万円減の24億6千2百万円となりました。これは主に買掛金の増加がありましたものの、未払金やリース債務が減少したことによるものです。

固定負債は同4百万円増の14億2千8百万円となりました。これは社債の減少がありましたが、長期借入金やリース債務、退職給付にかかる負債が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比8千9百万円減の41億1千6百万円となりました。これは主に配当支出による利益剰余金及び投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ3億4千9百万円減少し、当連結会計年度末には16億7千4百万円となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの区分別の概要は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

たな卸資産の増加や法人税等の支払はありましたが、税金等調整前当期純利益や減価償却費の計上、売上債権の増加などにより、資金が3億8千1百万円増加(前年同期2億円増加)しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資有価証券の売却による収入はありましたが、有形固定資産の取得や定期預金の預入期間見直しに伴う預入による支出を主因に、資金が4億8千6百万円減少(前年同期1千8百万円増加)しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

リース債務の返済及び配当金の支払等により、資金が2億4千4百万円減少(前年同期7千5百万円減少)しました。

### (4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、その先行きは非常に不透明な状況となっています。

このような見通しの中、当社グループでは昨年度より掲げております経営ビジョン「モノづくりのプロにゆえ、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の浸透と発信を更に進め、経営目標達成に向け努力してまいる所存であります。なお、コーポレートカルチャーの醸成と経営ビジョンの推進を図り、また、如何なる波にも耐え得る力をつけるため、新たに2020年度経営課題として『業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る』を定め、この課題解決に向けた機能的な組織体制とすべく、2020年4月に組織改革を実施しました。社長室には経営戦略実行の徹底・強化を図るために経営企画担当を設置し、マーケティング本部については「モノづくり事業本部」と改称し、傘下にある「商品部」はこれまでの商品企画部・購買部・特販部門を統合するなど“モノづくり”を一気通貫で推し進めるための組織づくりを実施しております。また、国内・海外の営業をそれぞれの戦略に則り徹底的に進めていくために営業部傘下の海外営業グループを独立させ、「国内営業部」と「海外営業部」を設置しました。また、各種プロジェクトを立ち上げ、具体的な課題解決を図ってまいります。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大が業績に与える影響を現時点で合理的に算定することが困難なことから、2021年3月期の業績予想は未定としております。合理的な算定が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準により作成する財務諸表が当社グループの経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況を示す上で適切であると判断しております。

また、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,073,590	2,000,937
受取手形及び売掛金	1,342,612	1,166,296
電子記録債権	189,004	152,302
商品及び製品	1,028,149	1,235,589
仕掛品	299,305	314,563
原材料及び貯蔵品	214,101	220,086
その他	70,329	72,388
貸倒引当金	△5,646	△5,514
流動資産合計	5,211,447	5,156,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	743,424	949,947
機械装置及び運搬具(純額)	72,061	92,100
工具、器具及び備品(純額)	56,807	67,273
土地	738,508	673,026
リース資産(純額)	339,255	355,538
建設仮勘定	178,846	14,669
有形固定資産合計	2,128,903	2,152,557
無形固定資産		
リース資産	17,794	33,851
その他	18,778	22,049
無形固定資産合計	36,572	55,901
投資その他の資産		
投資有価証券	550,686	429,175
退職給付に係る資産	83,795	80,595
繰延税金資産	71,895	108,771
その他	33,425	30,464
貸倒引当金	△7,077	△6,947
投資その他の資産合計	732,726	642,059
固定資産合計	2,898,202	2,850,518
資産合計	8,109,650	8,007,169

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	229,553	298,788
短期借入金	1,599,188	1,604,670
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
リース債務	125,408	86,631
未払法人税等	38,390	36,139
その他	427,759	376,010
流動負債合計	2,480,299	2,462,240
固定負債		
社債	150,000	90,000
長期借入金	1,005,686	1,027,440
リース債務	201,804	237,173
退職給付に係る負債	65,047	72,699
その他	780	780
固定負債合計	1,423,318	1,428,093
負債合計	3,903,618	3,890,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	2,504,848	2,486,445
自己株式	△164,014	△164,084
株主資本合計	3,791,879	3,773,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,313	146,227
その他の包括利益累計額合計	222,313	146,227
非支配株主持分	191,838	197,201
純資産合計	4,206,031	4,116,835
負債純資産合計	8,109,650	8,007,169

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,096,645	5,673,496
売上原価	3,922,829	3,682,896
売上総利益	2,173,815	1,990,600
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	589,669	613,731
退職給付費用	1,008	13,107
減価償却費	98,627	96,351
その他	1,044,913	1,029,625
販売費及び一般管理費合計	1,734,219	1,752,815
営業利益	439,595	237,784
営業外収益		
受取利息	67	74
受取配当金	14,978	16,599
受取家賃	9,484	8,655
受取保険金	13,742	-
その他	10,227	7,782
営業外収益合計	48,501	33,111
営業外費用		
支払利息	33,614	30,086
売上割引	46,580	44,228
その他	10,516	5,745
営業外費用合計	90,711	80,060
経常利益	397,385	190,835
特別利益		
関係会社株式売却益	-	19,000
特別利益合計	-	19,000
特別損失		
減損損失	-	68,832
特別損失合計	-	68,832
税金等調整前当期純利益	397,385	141,002
法人税、住民税及び事業税	113,946	74,787
法人税等調整額	13,943	△2,014
法人税等合計	127,890	72,772
当期純利益	269,495	68,230
非支配株主に帰属する当期純利益	24,290	21,258
親会社株主に帰属する当期純利益	245,205	46,971



## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	269,495	68,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,887	△77,981
その他の包括利益合計	8,887	△77,981
包括利益	278,383	△9,751
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	256,167	△29,114
非支配株主に係る包括利益	22,215	19,362

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券 評価差額金	その他の包 括利益 累計額合計		
当期首残高	960,000	491,045	2,334,358	△163,959	3,621,444	211,350	211,350	183,623	4,016,418
当期変動額									
剰余金の配当			△74,715		△74,715				△74,715
親会社株主に帰属する 当期純利益			245,205		245,205				245,205
自己株式の取得				△54	△54				△54
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						10,962	10,962	8,215	19,178
当期変動額合計	—	—	170,489	△54	170,434	10,962	10,962	8,215	189,613
当期末残高	960,000	491,045	2,504,848	△164,014	3,791,879	222,313	222,313	191,838	4,206,031

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券 評価差額金	その他の包 括利益 累計額合計		
当期首残高	960,000	491,045	2,504,848	△164,014	3,791,879	222,313	222,313	191,838	4,206,031
当期変動額									
剰余金の配当			△65,374		△65,374				△65,374
親会社株主に帰属する 当期純利益			46,971		46,971				46,971
自己株式の取得				△70	△70				△70
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△76,085	△76,085	5,362	△70,723
当期変動額合計	—	—	△18,403	△70	△18,473	△76,085	△76,085	5,362	△89,196
当期末残高	960,000	491,045	2,486,445	△164,084	3,773,406	146,227	146,227	197,201	4,116,835

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	397,385	141,002
減価償却費	209,087	223,724
減損損失	-	68,832
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	46	△261
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,243	7,651
受取利息及び受取配当金	△15,046	△16,674
支払利息	33,614	30,086
為替差損益 (△は益)	70	288
売上債権の増減額 (△は増加)	△45,033	213,017
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△55,216	△228,683
仕入債務の増減額 (△は減少)	△51,068	69,235
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△19,000
その他の資産の増減額 (△は増加)	△38,829	28,742
その他の負債の増減額 (△は減少)	△7,959	△46,065
小計	429,295	471,898
利息及び配当金の受取額	15,053	16,677
利息の支払額	△35,542	△31,757
法人税等の支払額	△208,785	△76,849
法人税等の還付額	-	1,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	200,021	381,563
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△552,600	△553,200
定期預金の払戻による収入	829,201	276,600
有形固定資産の取得による支出	△248,359	△228,338
無形固定資産の取得による支出	△3,327	△9,941
投資有価証券の取得による支出	△6,824	△7,331
関係会社株式の売却による収入	-	35,000
その他	547	1,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,636	△486,191
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13,332	△6,668
長期借入れによる収入	690,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△490,524	△516,096
社債の償還による支出	△60,000	△60,000
リース債務の返済による支出	△139,220	△132,127
自己株式の取得による支出	△54	△70
配当金の支払額	△74,715	△65,374
非支配株主への配当金の支払額	△14,000	△14,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,182	△244,335
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70	△288
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	143,405	△349,253
現金及び現金同等物の期首残高	1,880,185	2,023,590
現金及び現金同等物の期末残高	2,023,590	1,674,337

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「金属製品事業」は、作業工具・ファスニングツール・工業用ファスナー・電設工具・切削工具等の製造販売をしております。「レジャー事業」は、ゴルフ練習場の運営をしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

また、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	連結財務諸表 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,874,886	221,758	6,096,645	—	6,096,645	6,096,645
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,874,886	221,758	6,096,645	—	6,096,645	6,096,645
セグメント利益	353,977	85,618	439,595	—	439,595	439,595

(注) 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	連結財務諸表 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,443,091	230,405	5,673,496	—	5,673,496	5,673,496
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,443,091	230,405	5,673,496	—	5,673,496	5,673,496
セグメント利益	137,940	99,844	237,784	—	237,784	237,784

(注) 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	4,298.20円	4,197.09円
1株当たり当期純利益	262.55円	50.30円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	245,205	46,971
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	245,205	46,971
普通株式の期中平均株式数(千株)	933	933

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。